

2009年度

科目名	経済と社会B		
担当教員	小林 勇人		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	25390
開期	後期	講時	火曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	日々の暮らしと結び付けて、経済と社会を考える。		
目的と概要	この科目は、社会科学のなかの経済学と社会学が重なる分野に位置し、私たちの日々の暮らしという観点から、経済と社会について学ぶものです。「ワーキング・プア」や「ネットカフェ難民」など労働に関わる問題や、生活保護や医療・年金など福祉(社会保障)に関わる問題は、どのように私たちの日々の暮らしに結びついているのでしょうか？ この結びつきを考えるための概念や方法の基礎的な導入を行います。予備知識は必要ありませんが、新聞記事やテレビ報道での経済的・社会的ニュースに関心を持っていることが前提となります。		
成績評価法	期末試験(80%)と、講義時の平常点(20%)で、評価を行います。		
テキスト	特に指定しません。資料を配布しながら授業を進めます。		
参考書	立岩真也『希望について』青土社		
履修に当たっての注意・助言	オリエンテーションでは、講義の詳細について説明するので、必ず出席するようにしてください。なおこの科目では座席制を導入する予定です。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 資本主義について 3. 社会運動について 4. マス・メディアについて 5. 民主主義について 6. 国境について 7. 所有について 8. 労働について(4) 9. 労働について(5) 10. 労働について(6) 11. 福祉について(4) 12. 福祉について(5) 13. 福祉について(6) 14. まとめ(1) 15. まとめ(2) 			